

No. 807 17 de Mayo

DIRECCION:
USPALLATA 981
U. T. 23-7051, B. O.

EL "ARGENTIN DJIJO" AÑO XV

FRANQUEO PAGADO
CORREO ARGENTINO
TARIFA REDUCIDA
CONCESION 718

大阪商船會社指定
三等乗船切符仲次所
大阪商船會社船々客御送迎に就
ては懇切迅速に御便宜を御取計
申可候間、御遠慮なく下記へ
御用命賜度候



船船御用商
森川塩澤商店
PASSEO COLON 470
U. T. 33-4171
U. T. 33-4808

OSAKA SHOSEN KAISHA
Av. Roque Saenz Peña 616 U. T. 33, AVENIDA 1051 - 1052 - 1053 - 3565
2º PISO COOPERATIVA CENTRAL 2047
BUENOS AIRES

●北米ハナマ経由日本行「年十四回」擴張まで 四月十七日 (A型) 以上のすあいれす丸
●アフリカ経由日本行「毎月一回」門司まで 六月十日 あふりか丸 あむぎ丸 あらび丸
●小兒運賃 旅券記載生年月に依り満十二歳未満「半額」、満七才未満「四分
ノ一」満三才未満無賃、満四才以上亞細亞生れの方は 亞細亞旅券必要
●乗船支拂 日本行運賃は全部米幣貨建です。一等は乗船切符買求め當日の
換算率、三等は本船入港當日の換算率(何れも自由市場率)に依り運賃にて
お拂ひ願ひます。一等は定額運賃一割の出國税が掛ります。(三等は無税)
●歸國御手續 旅券面に日本領事の査証が要ります。三等客は乗船前乗船手
の健康診断を受け下さい。切符は本船入港前日以前迄發賣
●日本より御呼寄の便法當地にて乗船御支拂あれば乗船券引換証書上ま
す。但し移民局發給入國許可証及日本領事館發給呼寄証明書持参下さい
●鐵道省乗車券發行 日本第一港から本船切符の上陸港迄鐵道省派車乗換
の協合船便の代りに乗車券贈呈
●弊社内航線切符發行 弊社内航線寄港地を目的とする、場合參等内航線切
符贈呈 (但し沖繩、參等五割引)

貨運松乗		船種	
南阿船	全	日	本
A型	米貨	四五〇噸	特三(洋)一五七噸
B型	全	四〇九噸	特三(和)一四六噸
南阿船	全	三二七噸	普三(洋)一四三噸
			普三(和)一四三噸
			和食 二百廿五噸
			洋食乘貨 三七噸
			和食 九三噸
			八五噸
			七七噸

大阪商船

亞市然丁時報

DIARIO JAPONES
Director: T. MIDZUNO
Redacción: USPALLATA 981
U. T. 23, Buen Orden 7051
BUENOS AIRES
TARIFA DE SUBSCRIPCION
Un mes \$ 2.-
Tres meses " 6.-
Seis meses " 12.-
Un año " 24.-

YAMASHITA LINE

FAR EAST-NEW YORK-SOUTH AMERICA SERVICE

AGENT

CHADWICK, WEIR & Cía.

25 DE MAYO 516

U. T. 31-0026-29

"K" LINE

KAWASAKI KISEN KAISHA Ltd.
K O B E, J A P A N

Representantes
J. E. TURNER & Co. S. A.
RECONQUISTA 325 U. T. 31-3491-3

キリスト教青年ホーム
ペンシラン 定期又は一時的
聖書の研究 毎土曜日午後八
時より御來会自由
郵便物取次 来仕致します
守屋保吉

Caseros 1983
U. T. 23-9872

Semillería EL COLONO

ABONOS :: HORMIGUICIDAS :: INSECTICIDAS
IMPLEMENTOS AGRICOLAS
SEMILLAS Y PLANTAS

J. S. G A G O
IMPORTACION DE SEMILLAS
EN GENERAL

HERRAMIENTAS PARA JARDINES

GENERAL HORNOS 58
U. T. 23 BUEN ORDEN 7101
BUENOS AIRES

PIDA CATALOGO GENERAL

川崎汽船西廻世界一周航路
優秀船八隻就航
日本向け貨物迅速丁寧取扱致します
川崎汽船株式會社

経由 國
▲横濱比律賓海峽植民地印度及紅海沿岸諸
港之六天運河經由加奈摩北米伯利西爾亞爾然丁
▲亞爾然丁伯利西爾巴奈馬運河經由太平洋
岸諸港 橫濱

TALLER
MECANICO

de G. GONZALEZ

プランナー機
カルデーの
修繕その他

SAN JOSE 220

U. T. 38 - 5923

時計修繕
電話で御一報次第参上致します
市内カピトル街一七七八
電話(五二)〇九三三
守屋利夫

CABILDO 1178

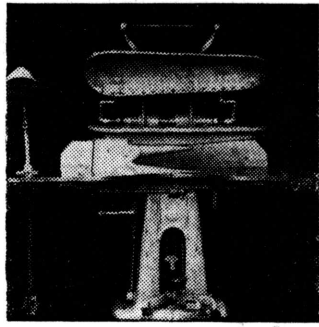
U. T. 52-0933

設備完全
仕事入念
赤月藤染色工場

BELGRANO 3061

U. T. 45 - LORIA 5442

邦人間唯一の
染色工場



最新ミニヤ機
TBPインキ印
カルデーラセント
リノガ・キエーゴ
のプランナー機
製造販賣修繕
高橋秀雄

Av. La Plata 1416

U. T. 60 - 9421

TOYOKEN

25 DE MAYO 356

U. T. 31 - 0739

自宅出張撮影
複写引伸し
如何に高真でも御引受け致す
市内サルタ街一五八
U. T. 三七一五七〇四
寫真師 佐藤貞則

東洋軒
料理部
純日本料理
折詰弁当
井物一切類
晝食
配達致し
相変らず
引立を

Masajista Japonés

SEGUROLA 1992-6

U. T. 67-4591

日本式マッサージ鍼灸
リウマチス 神経痛 呼吸器病
胃腸病その他一切の疾病効
日本書道 西坂商店
取次 山田忠重

GRAN PREMIO EXPOSICION DE LA
INDUSTRIA ARGENTINA 1983-84

BILLARES BRUNSWICK
BANDAS MONARCH
ULTIMA NOVEDAD "SNOOKER"

Solicite informes



Cia. Brunswick Sudamericana S. A.

1894 - CANGALLO - 1900
U. T. 47, Cuyo 3577 - Buenos Aires

MATSUYA HOTEL

TAQUARI 580
U. T. 34 - 1344

親切丁寧
顧客本意
浴室完備
まつや旅館
料理体面 井物一切
日本菓子製造致す
の会食に應じます

だ 井物一品料理仕出し
すし、おぼろ、饅頭、お出し
御婚札、御誕生の祝儀
御注文に應じます
松田清市

BOLIVAR 1556
U. T. 23 - 4092

"PLATA BRAUN" MARCA REGISTRADA



カフエーバー
レストラント用の
メル製品の
御用命は日本人間
に絶大の信用ある
ZEMMANN
月賦の御注文に
應じます

BERNARDO BRAUN e HIJO
CORRIENTES 4340 U. T. 54, Darwin 4111

ALMACEN
NISHISAKA

AUSTRALIA 1101
U. T. 21-2915

醤油味噌
澤巻香物 製造販賣
日本食料品輸入販賣
船中万端油
値段勉強配達迅速
西坂實太商店

Ernesto Coco

15 DE NOVIEMBRE 2335

U. T. 23 - 2835

ケロセソ廉賣
永年日本人洗濯店
並に御家庭の
御職員を蒙つて居ります

領事館銀行毎金社に近く
御乗船御下船の便よし
御下宿
御旅館
地方より出武の御日は是非御を希望す
昭和館

25 DE MAYO 330
U. T. 31 - 5145
BUENOS AIRES

"KEROGAS"

Ing. F. STUCKLER

U. T. 51-3252 PACHECO 3260

最新型ケマド・レス厚壁
クシケス・スプレッセル
製作販賣
諸種ケマド・修繕・部分品
販賣・日本人間にも多数顧客
在りし仕事は入念迅速電話
で御一報次第至急参上致します

TALLER GRAFICO

NIPPON

SANTIAGO DEL ESTERO 975

U. T. 23 - 7864

刷印版活文西
堂ニホツニ
種各他其・刺名蘭封等便
寸寸上款命用御拍不の少多
総 川 北

今最 會議 の案 法要重 「國家總動員法案 無修正で下院通過・貴院へ送附

(東京十六日) 今議会の最重要法案である國家總動員法案は昨朝の閣議で下院各派と無修正通過の見解一致、十六日の司法委員会を原案通り可決、直ちに同日の下院本会議場へ上程、斯くして無修正で下院通過、即日貴族院に送附される。

疾風枯葉を捲く勢いで我軍 南部津浦線東方地区を進撃す

(鄭州十六日) 我軍の鐵錘一艦に對して潰走する敵、西川軍牙部は二師五旅隊中の我が方の部隊は南部津浦線の東方地区を疾風枯葉を捲く如き勢いで進軍中である。之に協力するもの航空部隊の動土は陸の荒鷲部隊の補給の空を從横に飛翔、豫東東方約廿キロの區域に在りて動搖中の敵大部隊に對し、猛果敢闘の空襲を行ひ、敵は多大の損害を蒙り、津寧、嘉祥の與東方地区に若干の敵の遺動を認め、我が將士は益々奮勇を吐露し、一撃に之を殲滅せんとする。

北支經濟開發の 最高指導機關 日華經濟協議會 来る廿日、正式成立

(北京十六日) 北支經濟開發の最高指導機關として設置されるべき日華經濟協議會は北支、日本兩國の準備機關として設置、派遣の經濟最高顧問平生、三郎と中國臨時政府行政委員、長として同時成立を見る。長王克敏との間の協議を遂げた結果、日支双方の代表と略、内定し、平生最高顧問が北支各

支那航空に巨歩を踏出す

遞信省、対支航路復旧 航路補助額増加を企劃

(東京十六日) 平生の巨歩を踏出すこと、及び一、秋迄に我が國對支航路の再確立並びに一、層の發展の果敢斷野の、問題となり、漸次具體化するに至りたるが、遞信省に於ては、遞信部、航路補助額を二百五十万円を交付し、航路の復旧を計る。一、北支航路の天運航路に對し、補助額十九万円を交付し、航路補助額を計る。

オリムピック大会は 東京開催に正式決定！

(パリ、九月十五日) の決定、総会の結果、東京大会は九月廿一日の開催日、土曜日の十月十六日の日曜日の十六日、正式決定を見る。一、輸入品一部に對し、爲替取極めを許可。九四、年大会は東京で開催。

独逸政府、各國に独逸台邦を通知

(柏林十五日) 獨逸政府は十五日外交新聞を通じて各國政府に對し、獨逸政府は三月十三日を以て獨逸台邦と見做し、各國に駐在せる獨逸外交官は今後獨逸國駐在の權限外交官によりて代表される旨通告した。

一、山下汽船他三社協同の青島航路に對し補助額廿万円を交付し、配船増加を計る。此の他日清汽船の損失對策として、況況船三隻の引揚せしめ、修理の上引航路航行せしめると共に代船運送の形式の内航航路、沿岸航路結合せしめ、五隻を新造せしめる方針であつて、右に對する助成案は特別造船資金を融資すること、内定してゐる。

北支中支空の連絡 北京へ隔日、南京へ毎日 福岡旅客機往復

(東京十六日) 北支、中支空の連絡を図るため航空部は日本航空輸送株式會社として、今秋十月より東京福岡青島、北京、上海、南京、一百八十キロ米、隔日往復飛行はしめること、此等航空路にはダグラス、シー、ニ型十機入束、又はロックス、ド、ス、バー、エレクター、一入束の双發動機全金屬旅客機を使用する予定で、日本航空輸送株式會社は用意してゐる。

南昌飛行場を空襲

(上海十六日) 海軍航空隊は十五日夜八時、南昌を空襲、敵機九機を撃退し、旧飛行場、敵機五機を破壊、更に同十時過ぎ、新飛行場を奇襲、大損害を蒙り、又此の他漢口、吉安、天河、白雲外各飛行場並に、粵漢鐵路各機關、多大の損害を蒙る。

書籍雜誌
新盤レコード
續々到着
藏田書店
市內カネロス街一九八三
三三三(アチル)九九三

対支経営の参謀本部 対支経済審議会新設に決定 将来の「東亜省」の前身

(東京十五日) 政府は十五日閣議で北支開発、中支振興、西会社の中支監督機關として内閣に臨時部局とする対支経済事務局を設置し、更に対支経営の参謀本部ともなるべき対支経済開発重要事項を審議調査するたりの諮問機關として総理大臣を会長とする対支経済審議会を対支事務局の上置くことに決定を見た。尚、将来は兩機關を母体とする東亜省とも云ふべき強力なる対支中央機關を設立する方針である。

中支振興株式会社設立に閉し 上海現地当局談話を発表

(上海十五日) 上海現地当局は中支振興株式会社の設立に閉し、左の如き談話を発表した。
(一) 帝國政府は一月十六日、上海に於て中支振興株式会社の設立を承認し、更に上海現地当局に對し、該社の設立に必要なる一切の手續を簡便にするに努むることを約束した。
(二) 該社は、上海現地當局の承認を得、更に上海現地當局の協力を得て、中支振興株式会社の設立に努むることに決した。

帝國政府独逸合邦を承認せん 列國に卒先近く駐埃公使館引揚

(東京十五日) 獨逸合邦に對し我が政府は埃太利公使館を極く最近の機会に引揚げる事によって兩國合邦承認を事實上闡明するの態度に出るものと見られる。

独逸合邦に因し 独逸政府通告し来る

(東京十五日) 獨逸政府は十五日駐日獨逸大使館を通じて公文を以て玄田外相に對し去る十日、獨逸合邦に因する通告と見做されるので帝國政府としては既に報の如く列國に卒先して近く

とするの機運漸く濃厚なるに鑑み、帝國政府は右機運に呼應して官民一致して支那側は於て実施すべき中支経済復興並に開發に對し全幅的支援を以てする方針を確立せり、中支振興株式会社の設立の趣旨を更に強調す。

脱し眞に善隣相携へて一日も早く東洋平和の永久的礎石の確立に寄与せんことを期す。第三國の正当なる在支權益の尊重はもとより帝國不動の方針にして中支振興株式会社の機能も亦何等の種権益を齎するものには非ざるは勿論、中支振興共同発起に於ける事業投資に對し理解ある第三國の協力は寧ろ歓迎せんとする所あり。

(東京十五日) 厚生省では戦線に傷み今靜かに身心の回復に努めてゐる勇士の生活復帰に對しては種々考究を重ねてゐるが、先づ取敢へず是等勇士に例へて隻手隻脚でも立派に職業教練に立てるやうにするため斯界の權威者八十名を傷疾軍人職業顧問に委嘱する。

し、傷疾勇士の職業相談手として全國に派遣すること、亦つた、是等職業指導者の主たる候補は東京帝大助教松本隆次、東京帝大助教野上俊夫、東京府職業紹介所長豊原又男、東京市中央職業紹介所長藤田正、近江大教授千葉龍成等、近く東京大のニケ所打合せ会を備へた上精神方面、技術的方面、職業指導方面の三者を一体とした二十数班を結成して、それら分擔範圍を定め直ちに全國的に活動を開始する予定である。

市民の熱狂的歡呼裡に ヒトラー総統一行維納に入る

(ウィーン十四日) ヒトラー総統一行は十四日午後四時五十分市民の熱狂的歡呼裡に維納入りした。

兩会社の資本金払込

は午後七時半パルコシから数方の野果を前に獅子吼を試み、今や独逸同は

軍備大拡張を志し 歐洲新情勢に備へん 英首相下院で言明

(倫敦十四日) チェンバレン首相は十四日午後英國下院で独逸合邦の經過を詳細に説明するに共に歐洲政局の劇期的転換に直面し英政府の強硬方針を宣明した。

は、獨逸の軍備は現在進行中の軍備拡張計画に對し更に再検討を加へる方々の言明、軍備大拡張の意あるを明かにした。

フアンスト訪日親善使節團本十七日來朝

(東京十五日) ムツリニ率領の親善使節團は本十七日午後三時三十分東京駅着富士で入京後、直ちに全員礼装で参

入、天祿奉迎の榮光を賜ひ、十日明治神宮に参拝、大皇帝の御遺徳を偲び伊太利全國民の敬仰の赤誠を捧げるため壯麗な儀式で下はパウルチ國長の手で羅馬の帝威を神聖に祀り、銀色燦然たる明治大帝御徳記念の銀の桶を授けて獻納することになった。

傷疾軍人職業顧問 八十名を全國に派遣 厚生省の遺い企て

は、傷疾勇士の職業相談手として全國に派遣すること、亦つた、是等職業指導者の主たる候補は東京帝大助教松本隆次、東京帝大助教野上俊夫、東京府職業紹介所長豊原又男、東京市中央職業紹介所長藤田正、近江大教授千葉龍成等、近く東京大のニケ所打合せ会を備へた上精神方面、技術的方面、職業指導方面の三者を一体とした二十数班を結成して、それら分擔範圍を定め直ちに全國的に活動を開始する予定である。

は、獨逸の軍備は現在進行中の軍備拡張計画に對し更に再検討を加へる方々の言明、軍備大拡張の意あるを明かにした。

日会へホント一万ペソ寄附 創業二十五周年の山田商会から

公認小学校経営やラコスキン
際養所維持などで四苦八苦辛
許不如意の日会のお台所は思
はざる大枚一万ペソの大金が
ころがり込んだ。市内モ
レーノ街二〇三七番地は堂々
たる店舗を構へ日置貿易は花
々しく活躍してある山田商会
は、本年丁度創業二十五周年
を迎へたりと誠に昨十六日、
日会へ奨学資金及び救済部
資金として合計一万ペソの寄
附を申出で即刻ホント大枚を
提出し日会當局はうれし一
瞥を与へた。

同商会

は一九一三年八月
市内リバダビア街
七〇番地は於て歐洲大戦一
年前の状況は様々として創業
の船出を遂げより今日迄文
字通り発展の一途を辿り、そ
の同エスララ街、マイア街
タルクアノ街等次々と移転
拡張を遂げ、一般世間の商売
人が一九二〇年前後の大戦後
の恐慌にうちめされてゐる
頃にもこの難局をよく切抜け
てゲンく発展、一九三〇年
七月現在の場所を購入して移
転拡張を遂げ、追つて一九三
二年にはモンテビデオ市の交
差点設置を以て磐石の基礎を
築き上げるに至つた、而して同
商會は本年一月一日定期に資
本金五十万ペソ、山田飯野、今

の寄附金は基金をか積立金ぶ
どに入れ、平速最も適當
の方法で使つていなき度
のりです。

モンテネグロ氏や 訪日留學生 リオ丸で出発せん

訪日留學生二名の内の一
人、日本の教育制度を始め日
本大学などの研究目的を以て
適々授業の修めり、國へ行く大
學士ビクトリオ・フランケスキ
氏は先登の醫學士アルベル
ト・ペリカノ氏の後を追ひ來る
二十日出帆予定の商船リオテ
ジャネイロ丸で急ぎ出発する
つた。

一日一題

空の交通遮断

南遊子

八月十五日海の荒鷲隊初の派
洋南京大爆撃以來三月十三日
漢中爆撃まで支那四百余州各
飛行基地軍事施設を殆ど余す
所なく叩きつゞいた。殊に先
週一週間に於ける我が陸海空
軍部隊支那爆撃の成果は実
に驚嘆に値する。時は春三月
といへど、支那西北奥地は今
尚ほ零下十四五度、其上地上
一種を昇る毎に寒氣は六度五
度、四五千高度洋空襲は
容易である。斯の四十度内外
の寒氣を耐へ、西安、襄陽、

ここに決定した、尚ほ目下賜
暇帰國中の駐日亞國公使館書
記アルツロ・モンテネグロ氏も
同船で帰任する予定である。

アメリカン・トナメント アマリカントナメント

四度供票計では来る廿六日(土)
午後二時半より廿七日(日)午前九
時よりの両日は亞里同供票計は
於てアメリカン・トナメントを
挙行するが参加希望者は廿四日
(本迄)飯野幹事まで申込み
たし、会費二ペソ、供票計あり。

退亜

去る十日空路偏西より東
亞した東洋紡績會社取
締枝主屋喜太郎氏は本十七日
朝空路歐洲へ向つた

維持會員應募者芳名(第一回発表)

- 六〇〇ペソ宛 南米貿易株式會社、大阪商船株式會社、三
菱商船株式會社、四〇〇ペソ宛 南米水産株式會社、株式
會社、松本商店、山下汽船株式會社、高島屋飯田株式會社
村井太郎三〇〇ペソ宛 原商會、安東商會、加藤物産
株式會社、辻商店、石井商會、大村商會、東亞企業株式
會社、山田商會、二四〇ペソ宛 高市茂、賀集九平、伊
藤清藏、貝原熊三、二〇〇ペソ宛 勝田長三郎、瀧沢大
一、五〇ペソ宛 宮田政市、一〇〇ペソ宛 服部定雄、田一郎、
森川堤次商店、迎見良、大倉藤彦、新宅隆一、六〇ペソ宛
木村政太郎、加藤克一、北川松、林基次郎、五〇ペソ宛
吉田豐作、本出嘉太郎、四〇ペソ 大河原一、二〇ペソ宛
藤原勝衛、中川長作、合計八七三〇ペソ(三月十四日現在)

在留同胞各位

并答陳者來ル十九日(土)曜
日午後五時ヨリ七時迄、
同内山公使御夫妻官邸(ア
リベニヨス街一四九九「ト
レイト」街一七四八番ノ角)ニ
於テ一級在留同胞ニ應接
セラレベク候ニ付夫人同
伴隨御來留被下度此致
御案内申進候 敬具
在アルゼンチン
帝國公使館
在留同胞各位

帝國公使館

防壁の一角が切り崩されるこ
ともある。西安、蘭州は其
の策源地であり、襄陽は西安
漢口間空の最要衝たるのみ
ならず陸上水上の要衝方、即ち
西安から公路約六百料、鐵路
は京漢線より横は花河支線予
定線の終点に近く、水路は漢
口より漢水と漸進し尚ほ遠く
漢中までも溯航し得る。
關の関が籠の七平組敵方
一挙に水攻めした有名古戦
場、又漢中は、諸葛孔明が西
：西式を懐柔し東は籠を以つ
策源地としたる戦場はどあつ
て奥支那東部南北水陸交通の
要衝、殊に蔣政権最後の退路
所四川省州五北方より制圧す
る最要衝也。西安は漢時代の
首都として洛陽と共に史上有名
は海のそれにも比すべきか。

小舟の舟記録 (一)

「四月卯と切り紙で田舎に
あると謂ふのは「田舎の卯と
切り紙で田舎」との意である
意味を包蔵してゐる
在坐生活拾遺年刊に亙る中を歴
四十の小舟が公使夫妻歓迎会
と云ふ様子が著ある等の末席
左汚し舞臺のは此度の新社内
山公便に對するこの左以て精
天とする。この此程又呼吸結
まりに様なる。肩の凝りた宴會
に東人入居の初めである
から面白く華と云つて置かう。
船の感じは歓迎會の印象
前を殊更に祝賀の物で載す
難しむ風田舎「其物」でありた
動く其正面の座席、其次、況
んが御座入席、宛りお行儀統
うへ其物とありた、何故「嚴
迎會」と云ふ様子が各構互附す
おいのの少し不展詰り出た
をありた、多少朝の光景をた
見へるのは此の主賓閣下と花
田武官其出のちお那來がの南
米貿易の便永比と大々此の
このまありた、但し此の世評の
ニコく、まゝ角度の相違する
調りの類分であるのを知れぬ
が、其此の明朗性の歡心の現
は此の點に
種ふに主賓閣下は益々書き立

てると野暮臭い歎けが胸裏
互ひて無理難題の類面は勝
兩互動のす為めであらう等は
勿論だが、失礼に上りて永
年外人相手の外外交官生活
をなさ此のゝる關係上、自體
に角の磨減して円満にありて
居られるがらであらう等は何
えと否めまい
花田武官 武官の名に
似合はず極めて愛嬌のある相
好の持主であるがらには相違
あるまいが、猶し其此の「合
點」と云ふが膝を敵の由に
ありぬ、と云ふのは抑て武
官は日本人の持主の上「徳」
の是れ毎の居る評判の
而のと或る記すべからざる武
士の信念らしむのや敵岸と
は反對に敵敵と所りて理は以
通する位の評判の仁、畢竟
「笑ふと泣くと歸は一つ」所
謂地獄と星と指がす華の出来
ぬ、物に動かせぬ此の現は
此のよるとのがあるがら、
一序の事乍ら拵りて運
よく北米の大運艦を撃沈して
と、時おつて更に英國の艦
撃沈にドンと一発別艦は此
と願くは其の相好だけは崩し
給ふ所、新りて置く、

Table with 2 columns: Location (e.g., 北京, 天津, 上海) and numerical data.

邦人續々北支に殺到
既に一万を突破

北支明瞭化に伴ひ北京を中心
に與地方面に殺到する邦人の
数は日を送る増加する一方
に到る死日本色に溢れてゐる
が十二月末に於ける北京其他
各地邦人居住者数は次の通りで
ある
内地人 半島人
北京 五七〇〇 三、一六四
天津 一、〇五〇 七、三〇〇
上海 二、九〇〇 六、七〇〇
漢口 二、一〇〇 八、〇〇〇

フアンカルボ氏著
日西大辞典
昭和十二年七月三省堂發行
特價廿五ペソ郵税六十仙
日本語ローマ字綴りマ
詳細に解説あり西
語日本語研究者のため
はかくてはふらぬ辞典
重國一手販賣
原商店
ベルグラノ街一四七〇
U.T.三八一 九四三七

大阪商船会社
三月廿三日入港
三月三十日 出帆
アラビヤ丸
三月廿七日入港
四月二日 出帆

ACADEMIA DE BAILES
SARITA
CANGALLO 1279
舞踏
互知りする居ては聖國生活の面
白味は判りません、サリタハ
お趣のぶつて居りたニ、ペンと、お
で舞踏を習ひ居るのりません
サリタで飲へるステップは上品で
サリタで舞へるステップは上品で
サリタで舞へるステップは上品で
毎日午前九時午後十二時

CHACO
チヤコ
美ダグンサー
百五十名
サーヴィス
満員!
日本人のモーション
備入れて居ります
L.N.ALEM 474

CORNEJO KÖSTER
Medico Cirujano
Hospital Ramos Mejia
AV. DE MAYO 1334, 1º Piso D
U.T. 37-2739 (DE 17 A 20 HORAS)
診療處
皮膚病
淋病、梅毒
心臓病
肺病、腎臓病
婦人科
小児科

カトル印蚊取線香
日本第一番有名安定性の
カトル蚊取線香を御使用
下さい、安くて一番有効
です、小賣店で御買求め
の節は是非カトル印を御
指合下さい
安東大藥房代理店
安東商会
市内デフェンサ街五三二四〇
U.T. 三三(マベニダ)三三九六

産婆(入院隨意)
▲最も勉切に産婦のお世話
致し外 ▲産室の設備が
すますから何時でも入院出
来ます ▲往診と致します
高見澤産院
ランベルト・プリモ街一六六三
U.T. 三三(チルデニ)三二八四

RIVADAVIA 5871
U. T. 96-8082

ラキリアム・ワン
ツシキペルド商会
代理人
グイセンテ
シリアリエロ
和 優良球根
各種販賣

日本産敷 建築
文化住宅
家具製造修理其他の御用命を願
大工指物師 山本 玄
Av. del TEJAR 4817
U. T. 741 (Florida) 3150

歯科医療の
御相談に應じます
日本歯科
医学士 山本実雄
應接時間 午前八時~午後十時
市内エントレリオス街九七三
電話・リ・二・三三・五四二

MEDICINAL
NEWS

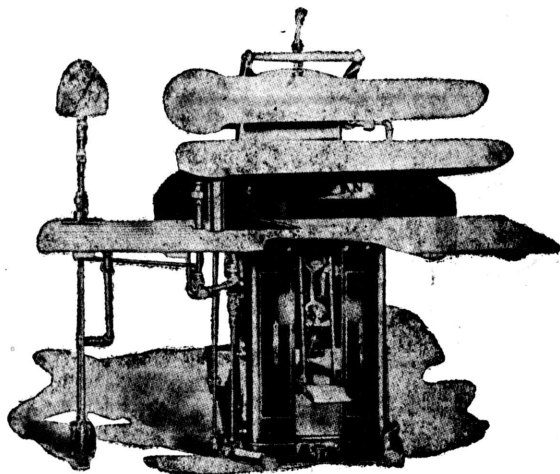
28 - Suipacha - 28

。淋病梅毒 治療代は全治後頂きます
。肺結核新療法 月十、廿の便あり
。婦人科。電氣治療科
。X光線科 (各科専門医十名)
診察料三ツ 午前九時~十二時
午後二時~八時
。日曜祭日は午前中

新 旧 オ フ マ シ 式
ラフヤチ機投賣

SALTA 431

U. T. 38, Mayo 0999



中古の完全無欠のオマフシ機
格安好条件拂にて販賣致す
(地方の御註文は日本本文の紙にて可)

東 医 学 士 國 分 鉄 藏
左記に於て歯科医療の
御相談に應じます
ドクトル エドアルド キンターニヤ 歯科医院
市内 エドラス 街六九二、四階
デパルタメント N 電話三三三三

SEMILLERIA
Juan Calé & Cía.

CASA MATRIZ
123 - PUEYREDON - 123
U. T. 47, CUYO 0065 y GUYO 0066
COOP. TEL. 1187, OESTE

Sucursal N.º 1: CORRIENTES 8175
U. T. 82, Mitre 1064-C T. 323, Oeste

U. T. 47 Cuyo 8006-C T. 1106, Centr
Sucursal N.º 2: RIVADAVIA 2425



琉球三味線教授
(割日) 土曜日午後二時より
日曜日中等科
安里電業
MOMPOX 1646
U. T. 23, B. Orden 8424

JUGUETERIA
TORRO

SARMIENTO 540

U. T. 34 - Defensa, 1687

玩具買家必
廉價・在庫豊富。
トロー玩具店で
日本製玩具あり
御中込次牙型磁磁豆

SASTRERIA "TORRO"

SARMIENTO 654

U. T. 35, Libertad 1392

この店が加減
御持参のものは
一割引致します

トロー
高等
洋服店

品質本位
仕立入念
八十五ペソ
より各種



ホフマン式プランチヤ機
並にカルデーラの修繕取付
一切廉價に引受けます
ホフマン社
指定機種 トリビオゴメス
Carlos Calvo 1195
U. T. 28 - 4564

御旅館 双葉
御下宿 双葉
和洋食月極めに應じます
皆様の御愛顧を願ひます
尾崎幸千代
USPALLATA 812
U. T. 23 (B. Orden) 5735

CLINICA MEDICA CANGALLO

CALLE CANGALLO 1542

Atendida personalmente por su Director

Dr. A. GODEL

Médico Cirujano

最新式獨乙療法
 淋病——根治療法
 梅毒——六〇六号、九一四号
 婦人病、心臓、胃腸、各科専門
 肺、腎、臟、神、經、系、統
 ◎日本人方には初診無料
 X光線、デアアルミ、血液検査
 診察日：自午前九時 至十二時
 自午後三時 至九時
 日曜、祭日は午前中

無痛歯抜 ニベソ
 セメント充填 五ベソ
 金冠 拾五ベソ
 金入歯 拾五ベソ
 総入れ歯 六拾五ベソ
 診察時間
 午前九時より
 午後八時まで

DR. E. BULJEVICH

BDO. DE IRIGOYEN 1404
 U. T. 23 (B. O.) 0279

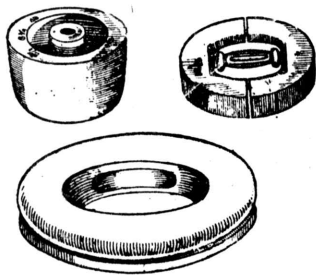
GRAN "EL ASAHI" TALLER

de MIYAZONO Hnos.

Casa Matriz:
 CHARCAS 1873 - U. T. 44, JUNCAL 4366
 Sucursales:
 BME. MITRE 2511 - U. T. 47, CUYO 7159
 RIVADAVIA 5202 - U. T. 60, Caballito 4738
 BUENOS AIRES
 CONSTITUCION 148 - U. T. S. Fernando 46
 SAN FERNANDO, (F. C. C. A.)

BUIS GORI Hnos.

LIMA 1029 U. T. 23-2897



帽子木型製造工場

チントレリアの仕事の上り下りは型番番に依ります。仕事に上り下りには良い型番番を使はねばなりません。弊工場はマテラプラタ、テラコラ、アルカゴ、イボ、製等流行型あり、あらゆる型番番の市場で供給し、田舎からの御注文にも應じます。

CAFE JAPONES

de K. UCHINO

LAS HERAS 667

TUCUMAN



ツクマン市
 内野喜吉

KEROFIX

DEL Sr. ALEMAN (MARTIN)

M. SEITZ & Cia.

Exposición y Venta:

DEFENSA 321

U. T. 33-1529

Talleres:

CHARCAS 4511

U. T. 71-9998

プラシチヤ機
 カルデー用のケマ
 ドレスデケロセン
 製作販売修繕取
 付交換引受け。
 当方はカーサ、ボ
 ル、カン、以、来、御、馴、染、の
 独、り、で、日、本、人、間、に
 数、多、の、顧、客、を、有、し
 仕、事、は、入、念、速、速、電
 話、で、御、一、報、次、第、至
 急、参、上、致、し、ま、す。

CAFE Y CERVECERIA LA "SATUMA"

有水武二
 久松純雄
 竹内武義
 加藤吉隆

General HORNOS 54

U. T. 23 - 0526

BUENOS AIRES

Doctor Julio Lutzki

A L S I N A 2 4 7 4
 U. T. 47 - 5329

診察 第二
 午後五時 心臓、肺、呼吸器
 八時 胃腸
 一 師

FRANCISCO SANTERO

EX-MECANICOS Cia. HOFFMAN

新案 TSB 印
 プラシチヤ機、並にセン
 トリ、ア、ガ、製、作、販、賣
 ガライ街三二四一番の角
 Calle Danel 1438
 U. T. 45 - 0294

かまぼこの
 御注文は村武へ
 原料精選
 味は良くて
 値段は安い
 御入用の節は電話で
 Marcos Paz 1941 U. T. 67-4833 FLORESTA

Casa MALIS

DEFENSA 717
 U. T. (33) 4382

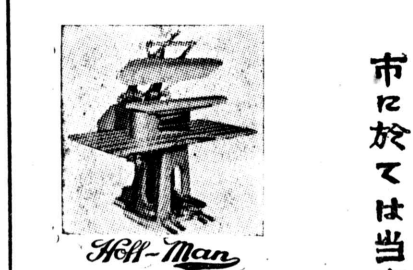
カフエー店
 就労用衣類の
 御用命は弊店へ
 サコ、テラコ、ミ、ソ、
 黒チヤ、ミ、ソ、
 黒サコ、ハ、ソ、
 上着、ミ、ソ、



GRAN MERCERIA Y BAZAR

Casa fundada en el año 1928
 PRIMERA Y UNICA CASA JAPONESA
 Últimas Novedades Para la Moda
 Creaciones en Artículos Japoneses
 SE ATIENDEN PEDIDOS TELEFONICOS

優良品 廉価販賣
 呉服、太物、小間物
 雑貨、最新流行婦
 人用品及び御家庭
 用品一切小賣店
 同胞に限り割引
 保険事務一切
 公認代理人
 林甚次郎
 CARLOS PELLEGRINI 1153
 U. T. 41, Plaza 1306



Máquinas Hoffman
 BELGRANO 525
 U. T. 34 - 1497
 BUENOS AIRES

TALLER MECANICO A. MENDEZ

CALLE VERA 737 - U. T. DARWIN 1108



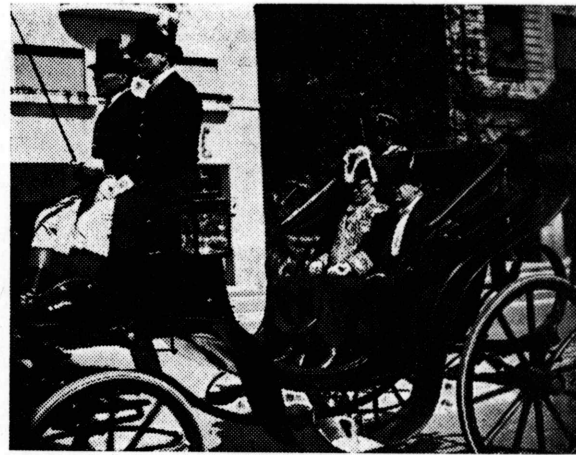
カルボンナフタ又ロカス汽鐘
 靴摺機(ウミシスモトル)
 其他洗濯機、縫紉機、磨石

オフマン式プラシチヤ機及
 同会社製附屋品販賣店は武
 市に於ては当店一軒のみです



Nuevo Ministro del Japón

S. E. el Señor Ministro Plenipotenciario del Japón, Don Iwataro Uchiyama, acompañado por los miembros de la Legación, saliendo de la Casa Rosada después de presentar las Cartas Credenciales a S. E. el Señor Presidente de la Nación



S. E. el Ministro del Japón dirigiéndose hacia la casa de Gobierno, en compañía del Introdutor de Embajadores Sr. Rodríguez Pividal, el viernes 11.

Dos Discursos Notables

El discurso del Presidente Ortiz, cuyo texto publicamos en este número, es un documento sobrio y sincero. Refleja en él todo el calor de la amistad argentina para con el Japón que nosotros sentimos y palpamos diariamente. Es la genuina expresión argentina de hospitalidad que todos los nipones residentes en este país apreciamos y agradecemos.

El señor Presidente tuvo la gentileza de decir, con su característica franqueza argentina, en elogio de los residentes nipones en la República, lo siguiente, que subrayamos, muy reconocidos por su amabilidad:

"EL PUEBLO ARGENTINO CONOCE Y APRECIA EN ALTO GRADO AL JAPON, NO SOLO POR SU GLORIOSA HISTORIA Y LOS INCESANTES PROGRESOS QUE HA ALCANZADO EN LAS MAS DIVERSAS ACTIVIDADES, SINO TAMBIEN POR EL MUY FAVORABLE CONCEPTO QUE NOS HA MERECIDO SIEMPRE LA LABORIOSA COLECTIVIDAD JAPONESA EN LA REPUBLICA".

El concepto elogioso con que nos honra el primer magistrado de la Nación Argentina, que es un estímulo para nosotros, sirve también, indirectamente, de guía para nuestra conducta futura, ya que será nuestro deber ineludible continuar cuidando nuestra conducta para merecer en adelante, como hasta ahora, la aprecio con que nos favorece el magnánimo pueblo argentino.

En el discurso del señor Ministro Uchiyama, que publicamos "in extenso" en nuestro número anterior, también contiene expresiones muy dignas de ser destacadas.

Primeramente manifestó que deseaba "poner de relieve los sentimientos de alta estima y de sincero afecto que S. M. el Emperador no cesa de manifestar hacia esta noble República", esto es, que era el deseo del Emperador del Japón que se estrechen los lazos de amistad existentes entre ambos países, agregando que, con ese anhelo, el gobierno del Japón "trata de intensificar las relaciones, tanto en el orden económico como cultural,

y que el conocimiento mutuo de ambos pueblos sea aún más profundo para que sirva de ejemplo en la marcha amistosa entre naciones en pro de la paz universal".

Llamamos la atención el hecho de que ésta es la primera vez que un ministro japonés ha hablado ante un presidente argentino sobre el acercamiento cultural de los dos pueblos. La preocupación del Japón de hacerse conocer y ser comprendido tal como es realmente, se ha traducido en la actividad cultural del Japón de los últimos años. La diplomacia moderna, según declaró el ministro Hirota en una ocasión, no puede prescindir de las tareas culturales, porque con los conocimientos culturales recíprocos se establecen las verdaderas amistades entre los pueblos, que servirán de cimentación para la paz entre los hombres.

Los anhelos del señor ministro del Japón serán cumplidos con el espontáneo y desinteresado concurso del gobierno y pueblo de la Argentina, que, como es notorio, son amigos del Japón; amigos de corazón.

EL MINISTRO DEL JAPON Y EL INSTITUTO CULTURAL ARGENTINO - JAPONES

S. E. el ministro del Japón, Sr. Iwataro Uchiyama, al ser informado de que es Presidente Honorario, de hecho, del Instituto Cultural Argentino-Japonés, ha dirigido una expresiva carta al Almirante Domecq García, presidente de la Institución mencionada.

Hemos obtenido de la Secretaría del Instituto el texto de la carta citada, la que insertamos a continuación, ya que ella contiene diversos conceptos que conviene que los conozcan los lectores del ARGENTIN DJIJO especialmente los lectores argentinos. Hé aquí la carta:

"Buenos Aires, Marzo 10 de 1938. — Señor Almirante Manuel Domecq García. Presidente del Instituto Cultural Argentino-Japonés.

Señor Presidente:

Ha llegado a mis manos la nota en que me comunica que, de acuerdo con las prescripciones estatutarias del Instituto Cultural Argentino-Japonés, en mi carácter de Ministro del Japón, que do de hecho reconocido como Presidente Honorario del mencionado Instituto.

Al aceptar tal honor, me es grato significar al Señor Presidente que constituirá una de mis más grandes preocupaciones, mientras esté en ejercicio de mi cargo, cooperar en la valiosa obra de acercamiento argentino-japonés que el Instituto viene desarrollando bajo la prestigiosa dirección de su Ilustre Presidente, el Almirante Don Manuel Domecq García, a quien en mi patria se lo considera como un excepcional amigo.

Ruego al señor Presidente acepte las seguridades de que el apoyo solicitado, para el mayor progreso de la Institución, será cumplido con el mayor entusiasmo para corresponder así al desinteresado concurso de los señores miembros de la Comisión Directiva y de los intelectuales argentinos que admiran al Japón.

Con este motivo, saludo al señor Presidente y, por su intermedio, a la Honorable Comisión Directiva, con mi más distinguida consideración. — (Firmado): Iwataro Uchiyama, Ministro del Japón."

EN LA ASOCIACION JAPONESA

Según estaba anunciado, tuvo lugar el sábado 12 del corriente, en el Salón de Actos de la Asociación Japonesa en la Argentina, la recepción que ofreciera la Colectividad Nipona de esta Capital al Excelentísimo Señor Ministro del Japón y la señora de Uchiyama.

Concurrieron al acto alrededor de doscientas personas de las más representativas de la colectividad, incluso el señor Cónsul del Japón y la señora de Fukuma.

Abrió el acto el señor Yonehei Nakamura, presidente de la Asociación Japonesa, quien ofreció el homenaje en nombre de toda la colectividad. Hablaron luego varios oradores en representación

PAGINA DE ACTUALIDADES

EL NUEVO GOBIERNO DE LA CHINA CENTRAL

SHANGHAI, marzo 12. — La prensa china informa que el nuevo gobierno de la China Central, bajo la tutela de los japoneses, entrará en funciones el 16 del corriente.

PRESUPUESTO EXTRAORDINARIO DEL JAPON

TOKIO, marzo 11. — La Cámara de los Pares, aprobó hoy el presupuesto extraordinario destinado para los gastos de las expediciones militares en China, que asciende a 4.850 millones de yens.

HA INICIADO SUS ACTIVIDADES EL BANCO DE RESERVA FEDERAL DEL NUEVO GOBIERNO CHINO

PEKIN, marzo 11. — El Banco de la Reserva Federal del nuevo gobierno chino, ha abierto sus puertas al público, simultáneamente con el de la sucursal en la ciudad de Tientsin.

LITERATURA ROJA

Durante el mes de febrero próximo pasado, el Correo de Buenos Aires, ha confiscado más de 21.000 ejemplares de publicaciones comunistas llegadas de Rusia, México, Francia, Estados Unidos, Canadá y Suiza.

ADMINISTRACION DE LA ADUANA DE SHANGHAI

SHANGHAI, marzo 11. — Las gestiones que se vienen realizando entre las autoridades japonesas, inglesas y de otras naciones interesadas con respecto a la administración aduanera de Shanghai, que estuvo en manos de los chinos, parecen haber llegado a un acuerdo a fin de nombrar un administrador japonés. Se espera así mismo que llegarán a un acuerdo general satisfactorio la cuestión de reservar las entradas de la aduana les

de diversos gremios allí representados: Cámara Japonesa de Comercio, Asociación de Floricultores, de Horticultores, Centros Regionales, Asociación de Jóvenes, etc. quienes, al propio tiempo de darles bienvenida a los homenajeados, explicaron las condiciones prósperas en que se hallan sus actividades, que prometen para el futuro.

El Ministro Uchiyama, agradeció en nombre de su señora y en el suyo propio la demostración de que eran objetos, y después de felicitar a la colectividad en general por el éxito de sus trabajos, especialmente por el concepto favorable de que goza en el país, a cuyo efecto refirió la expresión del Sr. Presidente Ortiz.

Formuló votos por la prosperidad de todos, recomendando que sigan trabajando con corrección como hasta ahora y sobre todo, sin olvidarse que la unión y la cooperación son la llave del éxito en el futuro.

fondos correspondientes para satisfacer las deudas extranjeras de China, lo mismo que la alteración de la exclusividad que tenían los bancos ingleses sobre el depósito de las entradas aduaneras.

COMBATES AEREOS

PEKIN, marzo 11. — Las flotas aéreas de Yamase y Teranishi, atacaron hoy a mediodía la base aérea de Sian, donde se libró un combate aéreo con una veintena de aparatos enemigos. Las máquinas japonesas, después de derribar 5 y de destruir 2 aviones enemigos, consiguieron bombardear los hangares del enemigo, regresando todos sanos y salvos. Entre el combate de hoy y el del día 8, los aviadores nipones han destruido 25 aviones chinos, además de causar daños vitales en la base aérea enemiga.

EXPOSICION UNIVERSAL DE 1940

TOKIO, marzo 11. — El Comité Internacional de Exposiciones de París, de acuerdo con el Comité de la Exposición Universal de Tokio de 1940, ha expedido las invitaciones correspondientes a los países firmantes de las Exposiciones Internacionales. El Congreso Internacional de Exposición Universal que se celebrará en París el 4 de abril, representará al Japón, el señor Matsunaga, sub-director de la Exposición Universal de Tokio.

El Comité Japonés ha resuelto enviar delegados especiales para invitar a los países extranjeros, iniciando con el señor Chu-ichi Ariyoshi, presidente de la Cámara de Comercio e Industria de Tokio, que saldrá el 10 de abril con destino a los países de Europa y América.

Tokio, 14. — El Ministro de Relaciones Exteriores ha impartido instrucciones a sus agentes diplomáticos en el exterior a fin de que inviten a los respectivos gobiernos a participar en la gran Exposición Mundial que se inaugurará en Tokio y Yokohama, en el año 1940, simultáneamente con las Olimpiadas.

Con este motivo, se activa por los respectivos departamentos los trabajos destinados a las instalaciones, como el plan de exhibición industrial y el programa de actos y festejos destinados a amenizar la Exposición.

EL JAPON TOMARA PARTE EN EL TORNEO POR LA COPA DAVIS

TOKIO, marzo 11. — Han sido nombrados representantes del Japón en el torneo por la Copa Davis de este año, los siguientes tennismen: Yamakishi, Abe, Nakano y Kuramitsu.

FRACASO DE LA PROPAGANDA CHINA RELATIVA A LA PROXIMA OLIMPIADA

EL CAIRO, marzo 11. — Llegó a ésta la delegación china al Congreso Internacional de las Olimpiadas. En vez del delegado Wang, se presentó el Dr. Sung, consejero de la embajada China en Bélgica, siendo rechazado para asistir al Congreso. La actitud China que no busca, sino perturbar la reunión, ha sembrado mal ambiente para sus fechorías. El desaire de que fué objeto el representante chino, hace suponer que tampoco prosperará la proposición China, apoyada por Inglaterra que trataba de anular la reunión de Tokio de 1940.

EN LOS PAISES SUDAMERICANOS NO DEBEN RESTRINGIR LA INMIGRACION DE DETERMINADAS RAZAS O NACIONALIDADES

Con el título de "Diferencias de razas en América", crítica "La Prensa" editorialmente en su número del domingo 13, la actitud de ciertos países que establecen vallas infranqueables contra el acceso de inmigrantes de determinadas razas, diciendo: "Tales medidas restrictivas en un país

sudamericano tienen un significado negativo del amplio liberarismo de las instituciones, republicanas y no armonizan tampoco en el espíritu humanitario que fué siempre característica de los pueblos de nuestro continente".

El ponderado juicio de "La Prensa" coincide en el fondo con la opinión vertida por el "Argentin DjiJo", en su número del día 5 de marzo próximo pasado, y el espíritu humanitario de los pueblos del continente sudamericano es idéntico al del Japón, según lo señaláramos nosotros en su oportunidad.

A HISTORY OF ARGENTINA BY RICARDO LEVENE

Ha sido traducida al inglés la conocida obra del Dr. Ricardo Levene, ex-presidente de la Universidad de La Plata, presidente de la Academia Nacional de Historia, titulada: "Lecciones de Historia Argentina", que sirve de texto para los colegios secundarios de la República.

CAPITAL BRITANICO EN LA ARGENTINA

El Boletín informativo de la Cámara Argentina de Comercio en Gran Bretaña, señala que según las estadísticas recientemente publicadas en Inglaterra, el monto del capital británico invertido en este país llegaba en 1937 a 441.497.518 libras esterlinas, habiendo registrado un rédito término medio para ese ejercicio de 2,91 por ciento.

EXCELENTE IMPRESION CAUSO EN JAPON EL DISCURSO DEL PRSIDENTE ORTIZ

Tokio, Marzo 13. — Excelente impresión produjo en ésta el texto del discurso pronunciado por el presidente de la República Argentina, doctor Roberto M. Ortiz, con motivo de la presentación de credenciales del nuevo Ministro del Japón, señor Uchiyama.

El presidente argentino no se ha limitado a pronunciar un discurso protocolar sino que ha dedicado un párrafo altamente elogioso para la historia diplomática de Japón y para la colonia japonesa, residente en la Argentina, presentándola como modelo de laboriosidad y honestidad.

JAPON EN AUSTRIA

Tokio, 15. — El gobierno japonés ordenará el abanadono de su legación en Austria en la brevedad posible, reconociendo, por lo tanto, oficialmente, la unión de Austria y Alemania.

LAMPARAS "YAMADA" DE CALIDAD



Luz Clara - Terminación Prolija - Selección Especial

USE LAMPARA "YAMADA"

En venta en las buenas casas del ramo

H. KATO

Unica Fábrica Japonesa de Tejidos de Sedas y Gran Instalación de Tintorería

HERRERA 2097 y 2111 U. T. 21-1841

¡Beba buen café!

EL CAFE DE SANTOS "AGUILA" está elaborado con los mejores catús que se importan del Brasil, tostados y con un 10 ojo de azúcar abrigantado. ¡Nada más!

Muchos cafés que por ahí se expenden, ¿podrían afirmar otro tanto?

Deduzca Vd. y prefiera el

CAFE DE SANTOS "AGUILA"

ES UN PRODUCTO SAINT.

Discurso del Excelentísimo Señor Presidente de la Nación, Doctor Roberto M. Ortiz

Damos a continuación el texto del discurso del Excelentísimo Señor Presidente, en respuesta al que pronunció el señor ministro del Japón, en ocasión de presentar las Cartas Credenciales, el viernes último:

Excelentísimo Señor Ministro:

Tengo el honor de recibir las cartas credenciales por las que Su Majestad, el emperador del Japón, tiene a bien acreditarlo en calidad de enviado extraordinario y ministro plenipotenciario, así como la que pone término a la misión de su digno predecesor, el señor Jiro Yamazaki.

Me complace en recordar en esta oportunidad que nuestros dos países, aunque separados por una gran distancia geográfica, no han dejado de preocuparse, en medio de sus existencias ardientes y activas, de mantener las buenas relaciones de todo orden que, felizmente, nos vinculan desde hace muchos años, relaciones ya traducidas en realidades políticas y económicas, cuyo constante crecimiento es fácil predecir y asegurar.

"El pueblo argentino conoce y aprecia en alto grado al Japón, no sólo por su gloriosa historia y los incesantes progresos que ha alcanzado en las más diversas actividades, sino también por el muy favorable concepto que nos ha merecido siempre la laboriosa colectividad japonesa radicada en la República.

"Puede V. E. contar con la más amplia colaboración de mi gobierno, que le ofrezco por anticipado para facilitar la realización de los elevados propósitos que lo animan, en la seguridad de los muchos beneficios morales y materiales que de ellos podemos esperar.

"Al expresar al señor ministro que me es grato reconocerlo en su elevado carácter diplomático, le pido quiera transmitir a su augusto soberano la sincera manifestación del afecto que personalmente le profeso y los votos muy cordiales que formulo por su ventura personal y la prosperidad de su noble pueblo."

¿Por qué Francia es para mí una segunda patria?

Por el Dr. YOTARO SUGIMURA, Embajador del Japón en Francia

(Versión castellana de JORGE L. H. SHINYA)

N. de la D.: Este artículo fué publicado en la revista "France-Japon", de París, correspondiente a Octubre de 1937.

Todo el mundo ama a Francia, sin distinción de nacionalidad o de raza, porque un bello y magnífico país, donde el encanto de la naturaleza está unido a todo el arte de la vida. El clima es delicioso; se come y bebe muy bien. Si París es la capital de las capitales, no se debe olvidar la belleza y riquezas de las provincias francesas que son incomparables en Europa.

Pero lo que me apasiona todavía más, es su historia donde adoro recordar una continuidad sin igual en una evolución siempre interesante. No se encuentran aquí profundas rupturas entre el pasado y el presente, pero sí, trazos emotivos de un pasado que sobrevive todavía en el presente.

Las magníficas proezas que, a través de los siglos, han llevado a un punto tan alto la gloria de Francia, están todavía vivientes en todas las memorias y constituyen el sólido fundamento de su civilización renovada sin cesar.

Las bellas artes, la literatura y hasta la política continúan impregnadas de estas nobles tradiciones y esta herencia espiritual sin igual que inmortaliza la patria.

La fineza admirable de la civilización francesa y todas las grandes cualidades que testimonian su nobleza de corazón son el producto de esfuerzos perseverantes y continuos de los descendientes de los antiguos galos, dotados de todos los dones geniales de la raza y ayudados por la influencia de un medio particularmente favorable.

Los japoneses lo comprenden sin dificultad porque ellos también pertenecen a una nación a la vez joven y vieja, favorecida igualmente por la naturaleza.

Francia está desde hace tiempo considerada como el centro del progreso humano.

Nosotros descubrimos constantemente fuentes inagotables de renovación y de renacimiento.

Su ciencia, su arte, en el dominio de las grandes ideas, el mundo admira a justo título el genio francés.

Casi todas las invenciones importantes y todos los pensamientos originales son venidos de Francia, que parece así constituir una especie de paraíso de la inteligencia humana.

Sin embargo, no es suficiente amar las bellezas de Francia, admirar su historia magnífica y venerar todas las hazañas de su genio para considerarla a este asombroso país como su segunda patria. Para esto es necesario haber vivido largo tiempo y haber respirado profundamente su atmósfera particular. Pues yo he tenido el privilegio de pasar 8 años de mi juventud en Grenoble, Lyon y París, y más tarde cuatro años en París y seis en la Suiza francesa. Es porque las cimas audaces de los Alpes delfinos, la gran vía de agua del Rin y la vía triunfal de los Campos Eliseos me son tan familiares que forman parte de mí ser. Mis sentimientos a su consideración, sin hablar de tantos otros esplendores, son casi filiales, tanto, como que están íntimamente asociados a mis recuerdos de los bellos días de antaño en la Universidad, de mis profesores y camaradas, sin olvidar los dueños de la pensión de familia, donde yo he recibido una tan buena acogida y cada vez que me apartaba de París, las lágrimas inundaban mis ojos.

Por otra parte, no he visto solamente días brillantes y fáciles, sino también he vivido horas oscuras.

He compartido con mis amigos franceses, todas sus angustias y todas sus alegrías.

Durante la gran guerra visité el frente y admiré el impulso magnífico de los jóvenes soldados.

No estuve menos impresionado de la obra gigantesca cumplida por los obreros en las usinas de armas y municiones, como pude admirar el poder mágico de "las medias de lana" que fueron una de las fuentes principales de la Defensa Nacional.

Creo entonces poder decir que conozco a Francia y a los franceses.

Esto no es todo. Dos de mis hijos son nacidos, en París.

Por esto mi amistad hacia Francia, mi cariño por ella son más fraternales. Para mí y mi familia Francia es verdaderamente una segunda patria. Sería, sin duda, una injusticia permanecer aquí, si se pudiera creer que mi sincera y viviente amistad tuviera únicamente por causa mi larga estada en París o en provincia. No es ésta la cau-

sa. La conquista de mi espíritu y de mi corazón ha sido hecha, sobre todo por las virtudes de la nación.

Los franceses poseen numerosas virtudes que yo me guardaré de enumerar. Pero entre ellas quisiera decir algunas palabras del patriotismo.

En Francia el amor de la patria, esta cualidad excepcional, no puede ser estrecha, como resulta algunas veces en los países nuevos. Aquí es altamente cultivado, deliciosamente refinado y no menos profundamente humano. Entre las naciones occidentales hay algunas que son demasiado soberbias de su poder o de su cultura y en las cuales un sentimiento de superioridad hace difícil la comprensión de los otros pueblos, y particularmente con aquéllos de las razas de color.

Llegaron algunas veces hasta infligir un tratamiento discriminante a los amarillos o negros, en sus relaciones políticas o comerciales, sin tener en cuenta sus aptitudes y el grado de su civilización. En Francia, por el contrario, los grandes principios de libertad, de igualdad y de fraternidad están profundamente arraigados en los espíritus y también en las costumbres.

Los nipones como los otros pueblos orientales son acogidos como amigos y viven felices aquí, encantados, por la generosa hospitalidad de los hombres y las admirables bellezas de la naturaleza.

Los cerebros franceses con su gusto de la lógica inexorable, pueden algunas veces parecer un poco duros y severos, pero los corazones están siempre llenos de una infinita bondad. A veces ellos podrían parecer demasiado buenos frente a un adversario terrible.

La reputación de los franceses a este respecto está universalmente difundida.

Entre ellos se encuentran naturalmente modalidades diferentes en las maneras de manifestarse siguiendo las diversas regiones del país.

Los lioneses, por ejemplo, son renombrados por su espíritu de economía, pero conviene también recordar con que inquebrantable fidelidad conservan sus viejas amistades.

A mi arribo a París, recientemente, recibí un centenar de cartas de simpatía y felicitaciones de mis amigos lioneses.

Yo he visitado su bella ciudad industrial hace treinta años. Pues la gracia de los "grenobleneses" que tienen la modalidad amistosa de los "montañeses", atraen cada año millares de estudiantes extranjeros que asisten a los cursos de vacaciones de la Universidad.

Si conservo siempre excelentes recuerdos de mis excursiones en los sitios pintorescos del Delfinado, olvidaré aún menos toda la sólida fidelidad de mis amigos grenobleneses.

En cuanto a París, es decir, el verdadero París, que no se encuentra sobre los bulevares ni en los hoteles, los extranjeros no pueden conocer las verdaderas amistades como los que son admitidos en esas familias parisienses que se abstienen generalmente de mezclarse con la ciudad mundana, pero quedan a la sombra de la ciudad luz, orgullosos de su labor y de su cultura, despreciando el carácter superficial del mundo cosmopolita de la capital.

Si Francia es mi segunda patria, la razón reside en el haber tenido la felicidad de entrar en contacto familiar con las élites del país y las clases medias que forman el núcleo más sólido del poder y de la civilización francesa.

Los turistas extranjeros no tienen generalmente ese privilegio, reservado a aquéllos que saben amar, venerar y admirar sinceramente a Francia.

Incluya un crucero alrededor del mundo en sus próximas vacaciones

•
Cuando vaya usted a Europa, hágalo pasando por el Oriente

•
PASAJES MUY VENTAJOSOS

•
Para informes dirigirse a:

Osaka Shosen Kaisha

Diagonal Roque Sáenz Peña 616. - 2º piso

Sastrería Japonesa

Fundada en el año 1916

de S. Katayama

PIEDRAS 572

U. T. 33-5452

ACTIVIDADES MILITARES

Sinan, 15. — La unidad Fukunaya del ejército japonés inició la ofensiva contra las fuerzas comunistas destacadas a lo largo del F. C. Tientsin-Pukow. A las 17 y media la Estación Chieko de este F. C. cayó en manos de los japoneses en cuyo edificio fué izada la bandera javonesa.

Küwo, 15. — El ejército japonés ha conquistado Juicheng de la provincia de Shansi. Este mismo ejército avanza hacia Shenchow, apoderándose del F. C. Lung-Hai. Por lo tanto el transporte de los armamentos a las fuerzas comunistas fué interrumpido definitivamente.

MOVIMIENTO ANTI - COMUNISTA

Shanghai, 14. — Dos millones de habitantes, de la ciudad de Kiang-Nan piden entusiastamente la libertad de su pueblo oprimido bajo la tiranía militar-comunista del Gobierno Nacionalista que duró 10 años.

EL ARRESTO DEL MARISCAL BLUCHER

Shanghai, 14. — Ha producido sensación en ésta la información, no confirmada, del arresto del Mariscal Blucher, quien tenía a su cuidado la defensa de la Rusia Asiática, y de numerosos oficiales del ejército. Al comentar la situación interna de Rusia, puesta de relieve en este resonante proceso, el señor Yang, calificado dirigente chino, manifestó: "Parece imposible que muchos hombres prominentes, entre los que se encuentran algunos con innegables condiciones de sabiduría

y prudencia, no hayan podido evitar que China haya sido arrastrada a la zona de influencia de un hombre que dirige con el terror de su pueblo, no descubriendo que, a través de los actos de la política interna e internacional iba estampado el sello no de hombres dirigentes sino de la más baja delincuencia como aquella que registran los gangster americanos. Más que hombres de gobiernos sujetos a normas tradicionales de moralidad y honor, parecen banda de delinquentes, asociados para el crimen.

DIFÍCIL SITUACION MONETARIA EN CHINA

Shanghai, 14. — Con el objeto de asegurar la estabilidad monetaria, sumamente desacreditada desde la iniciación del conflicto con el Japón, el Gobierno Nacionalista Chino decretó la Ley de Moratoria recurriendo a las más extremas medidas prohibitivas de la circulación monetaria. De acuerdo con esta política se han cotizado 10 dólares en un chelín con 2 peniques. A pesar de esta extrema medida la emigración de capitales al extranjero, so pretexto de la venta de dólares ha traído como consecuencia, la disminución del crédito del Banco Central Chino. Mientras tanto se cree en la implantación de un nuevo sistema para salir de este apuro. En el Norte de China se fundó el Banco Federal de la China, por lo tanto, concentración de dólares, en la bolsa de Shanghai, se cree inevitable. Además, con la erección del nuevo gobierno chino y el abandono del antiguo sistema monetario del Gobierno Nacionalista, la moneda china entrará en el bloque formado por el sistema del Yens. De todo esto se deduce: 1.º Que

el gobierno nacionalista ha iniciado la descomposición de su sistema económico actualmente vigente; 2.º que el gobierno nacionalista abandona económicamente a Shanghai ya que desde el punto de vista político lo ha hecho hace tiempo.

Shanghai, 15. — El proyecto de la reforma monetaria del Gobierno de Hang-Kow es recibido con pesimismo en los círculos financieros de China ya que esto significa ante todo la depreciación de "Yuan", unidad de moneda china, con la consiguiente disminución del valor adquisitivo de esta moneda. El gobierno de Hang-Kow se defiende argumentando que la nueva política obedece a una medida de precaución tomada ante la perspectiva de un desorden en la circulación de dicha moneda que se provocaría con la fundación del Banco Provisorio en el Norte de China.

Sin embargo, nadie tiene fé a esta explicación del gobierno; por el contrario, la opinión general se inclina a creer que esta medida es el paso inicial del derrumbamiento de "Yuan" y por lo tanto del sistema monetario actualmente vigente en China. A pocos días de anunciada esta medida por el gobierno chino, la inmensa mayoría de los comerciantes en China comenzaron el uso de la moneda japonesa "Yen". Esta situación que se ha creado en una forma tan brusca, sólo con el citado anuncio del gobierno chino, repercutirá seriamente en los comerciantes extranjeros que negocian sólo con la moneda china. Se espera, de un momento a otro, la desaparición total del "Yuan"; será considerada como oficial, hasta la aparición de una nueva moneda, fijada por el Nuevo Gobierno Central Chino.

"NAMBEI"
Compañía de Importación y Exportación Sociedad Anónima
Telegramas "NAMBEI"
U. T. (33) 3001, 3002, 3003, 3004, 3008 y 3071
T. T. Buenos Aires, 904
SARMIENTO 470 BUENOS AIRES

H. KATO
Unica Fábrica Japonesa de Tejidos de Sedas y Gran Instalación de Tintorería
HERRERA 2097 y 2111 - U. T. 21-1841

SADAO HATTORI
IMPORTADOR
Especialidad en artículos de Cepillería
LINIERS 649 - U. T. 45, Loria 3218

KATSUDA y Cía.
Importadores
MEXICO 1474 - U. T. 38, Mayo 2313

B. TAKINAMI
Importador
Casa Establecida en el año 1905
VICTORIA 738 - U. T. Mayo 38-3413

I. HIROTA
Importador de artículos generales del Japón
CHILE 1029 - U. T. 37 (Riv.) 0251

N. IKEDA
The National City Bank of New York
BARTOLOME MITRE 502
U. T. Avenida 33 - 4081

T. NISHIZAWA
Representante de
Mitsubishi Shoji Kaisha, Ltda.
FLORIDA 229 U. T. 33-5460

S. YAMADA y Cía.
Importadores
MORENO 2039
U. T. Cuyo, 47-4354 y 4405

IIDA y Cía. Ltda.
(Takahimaya)
Importadores y Exportadores
RODRIGUEZ PERA 182
U. T. Mayo 33-3419

R. HARA y Cía.
Importadores
BELGRANO 1470
U. T. Mayo 38-2438 y 9437

CARLOS C. ISHIY
Importador y Exportador
Bm. MITRE 341 - U. T. 33 Avda. 9782

S. YOKOBORI
Representante de FUJISAKI y Cía.
CANGALLO 499
Ser. Piso Esq. N.º 21-22 - U. T. 33-0390

TARO MURAI
Unica Casa Introdutora de
Porcelana "NORITAKE"
MAIPU 463 - U. T. Retiro 31-3189

F. KANEMATSU y Cía. Ltda.
Importaciones y Exportaciones
JUJUY 136 - U. T. 45, Loria 5823 y 5824

PIDA SIEMPRE
Marca KANEBO
PARA TEJIDOS
Avda. ROQUE SAENZ PERA 989
U. T. 35-7632 8.º piso Oficina D

M. OMURA
Importador de artículos generales del Japón
SAN MARTIN 235 - U. T. 33-2683

S. ANDO y Cía.
Importadores
DEFENSA 532-40
U. T. 33 (Av.) 2296;

JIRO HONDA y Hno.
Importadores de Artículos Generales del Japón
MORENO 1320 - U. T. 38 Mayo 2718

Casa "YAMANAKA"
Oriental Fine Art Curious
VIAMONTE 624 - U. T. 31 7846

K. YASUNAGA
Compañía Argentina, Comercial e Industrial de Pesquería
DEFENSA 1697 - U. T. 33-7769

S. TSUJI
Importador
BALCARCE 682 - U. T. 33 Avda. 5744

LA MAISON SATUMA
K. YOKOHAMA
Objetos de Arte y Antigüedades
ESMERALDA 1080 - U. T. 31-8601
Sueursal:
SUIPACHA 865 - U. T. 31-4837

G. KATO (C. YUASA)
Representante de
KATO BUSAN KAISHIA Ltd.
Av. Roque Sáenz Peña 825
U. T. 35-5696

Sastrería JAPONESA
Fundada en el año 1916 de S. KATAYAMA
PIEDRAS 572 - U. T. 33-5462

GUIA JAPONESA
LEGACION DEL JAPON: Reconquista 336. — U. T. 31-3193.
CONSULADO DEL JAPON: Reconquista 336. U. T. 31-3193.
CAMARA DE COMERCIO JAPONESA: Avenida Roque Sáenz Peña 618. — U. T. 33-1452.
INSTITUTO CULTURAL ARGENTINO-JAPONES: Viamonte 1425.
ASOCIACION JAPONESA: Patagones 840. — U. T. 23-4998.
COMPARIA DE VAPORES O. S. M.: ROQUE S. PERA 616 - 2º Piso U. T. 32-1054 - 1052 - 1058 y 999E